

ジオスペース館だより

★ 今月の星もよう ★

4月は始まりの季節です。ジオスペース館のプラネタリウムもリニューアルされ、一層迫力あるデジタル映像をお楽しみいただけるようになりました。さて、春めいて暖かさが増した、この季節、4月中旬 夜8時頃の星空を見てみましょう。冬の大三角は西に傾き、東の空に春の大三角が昇ってきました。南の空高くには天頂をはさんで、春を代表する2つの大きな星座がどろどろと並んでいます。北の空高くに昇ってきたのは「おおぐま座」。背中から長いしっぽにかけてヒシャクの形のように並び、7つの星は「北斗七星」と呼ばれ、春から夏にかけてよく目立ち、北極星を探す目印として有名ですね。そして、「おおぐま座」の南に駆け昇ってきたのは「しし座」です。「？」マークを裏返しにしたような星の並びがししの横顔で、その下の胸元に輝いているのが1等星のレグルスです。しっぽの先の2等星デボネラに向って、順に星をたどっていくと、ししの姿がきれいに浮かび上がってきます。春先は霞で空がぼんやりとする季節ですが、晴れた日には夜空を眺めて楽しみましょう。



星図はステラナビゲーター11を使用して作成



★ 月と惑星を観察しよう! ★

夜明け前の南東の空に、右上から「木星」「土星」「火星」が並び、よく見えています。また、4月15日から17日にかけて、3つの惑星のそばを「月」が通りすぎていくのが見られます。月と惑星の輝きや位置の変化を、この機会にぜひ観察しましょう。

★ 月と金星が26日に接近!

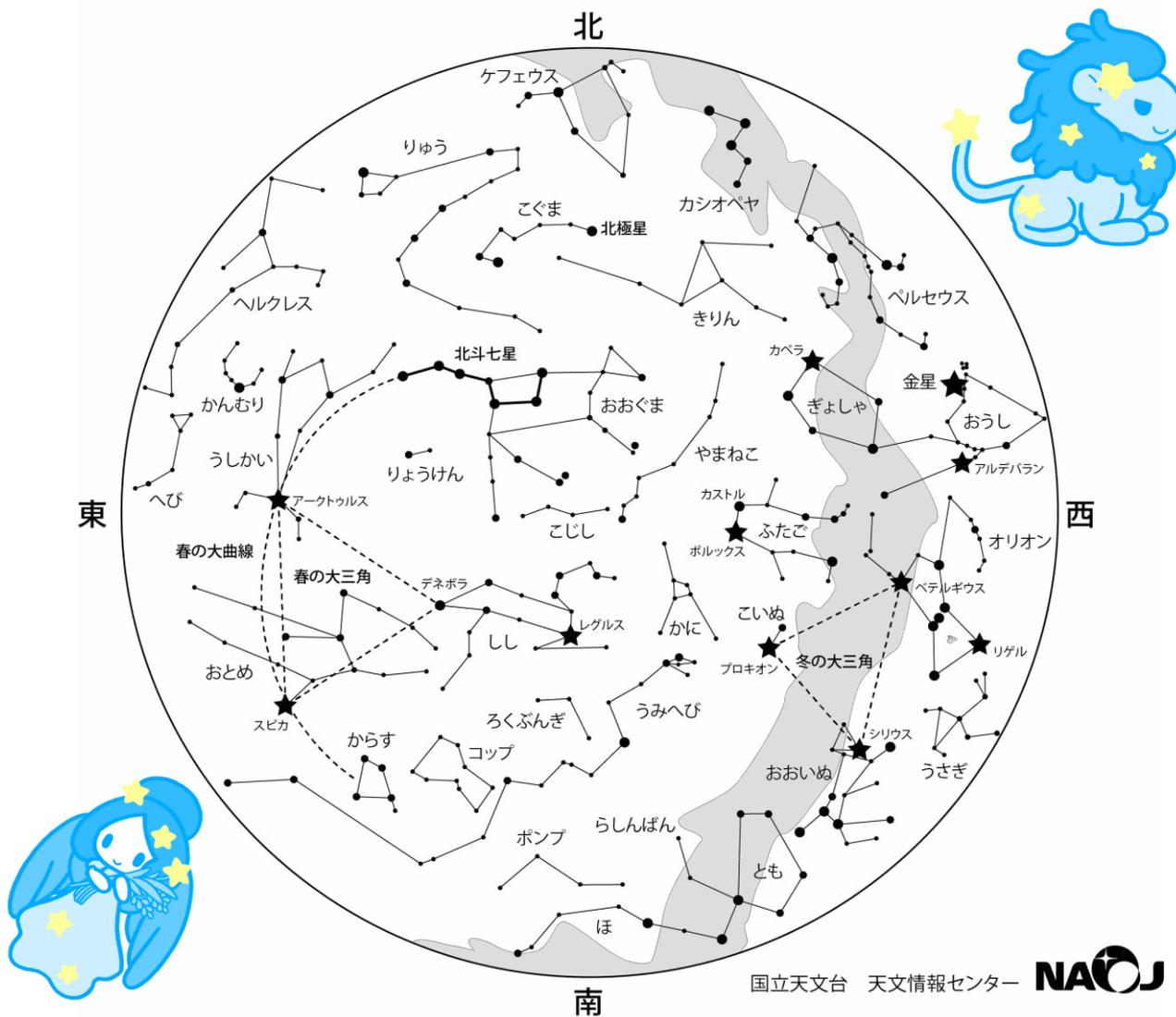
日の入り直後の西の空では、「宵の明星」とよばれる金星が輝いています。1等星の100倍以上の明るさで、明星という名にふさわしい輝きです(最大光度は28日、マイナス4.5等)。4月26日には、そんな金星の左下で、細い月が輝きます。夕闇の迫る中、金星と細い月がともに明るく輝きながら地平線へ近づく、天体ショーをお楽しみください。



☆☆ 4月のプラネタリウムのご案内 ☆☆

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ジオスペース館は4月6日まで臨時休館中です。今後の状況によりさらに延長となる場合もあります。

4月上旬午後9時頃の星空



★ 4月上旬の主な天文現象

1日(水) 火星と土星が最接近、 ● 上弦	5日(日) 小惑星ジュノーが衝
4日(土) 金星とプレアデス星団が最接近、 せいめい 清明	8日(水) 月の距離が今年最も近い、 ○ 満月 (スーパームーン)
	15日(水) ● 下弦

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 4/1~15) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 4月 4日(土) [見やすさ ○]	19:33	北北西	~	19:36	北東
◇ 4月 6日(月) [見やすさ ◎]	19:34	北西	~	19:38	南南東
◇ 4月 7日(火) [見やすさ ◎]	18:47	北西	~	18:53	東南東
◇ 4月 9日(木) [見やすさ ◎]	18:49	西北西	~	18:55	南南東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。